

2024年4月

お得意先の皆様へ

千葉中央生コンクリート協同組合

理事長 長谷川 茂



完全週休二日制導入の検討開始について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より組合の活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、政府の推進する働き方改革の一環として、完全週休二日制の導入が全産業界で広がる中、建設業界においては本年4月から時間外労働上限規制が適用され、原則として月45時間、年360時間を超える時間外労働ができなくなります。

また日本建設業連合会は、現場の4週8閉所と週40時間労働を原則とする「適正工期確保宣言」を行い2023年9月から本格実施を開始しています。

生コンクリート業界では、このまま完全週休二日制導入の流れに大きく遅れますと、激化する人材獲得競争にも遅れをとり、従業員の高齢化が益々進行し、事業継続そのものが危ぶまれることが懸念されます。

かかる状況下、弊協組では組合員のより良い職場環境の改善と、将来を担う人材確保の観点から2025年4月を目途に完全週休二日制の導入を検討することとしました。関係者各位のご理解・ご協力をいただきながら円滑に進めて参る所存です。

お得意先の皆様におかれては、生コンクリート業界を取り巻く環境をご理解の上、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬 具